H26.5.29 第1回協議会

資料No.1

平成25年度
公共交通利用状況について

《目　次》

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績 …… 1
2 高校生通学ライナーバス利用実績 …… 4
3 井栗地区コミュニティバス利用実績 …… 5
4 まとめ …… 6

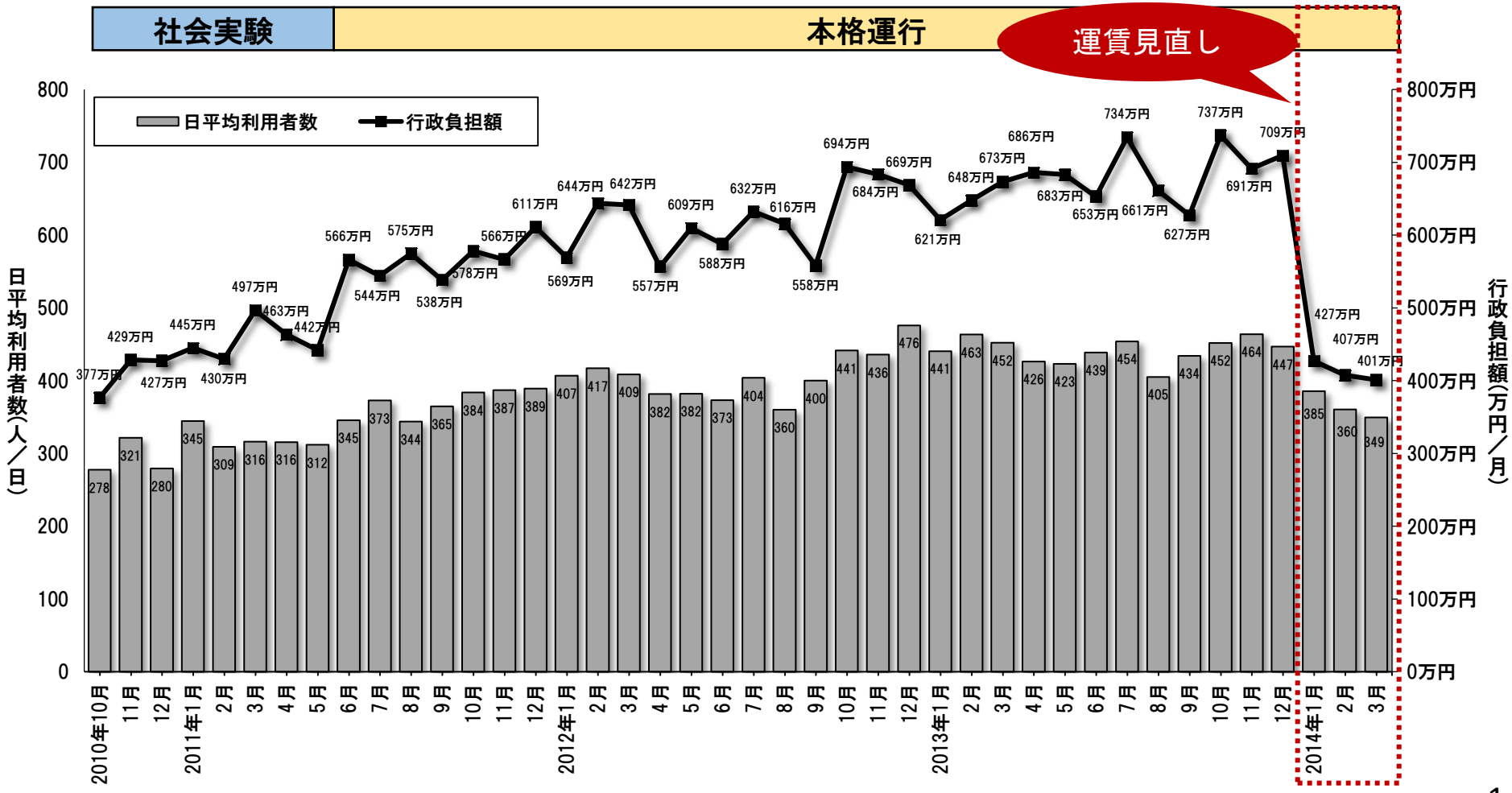
平成26年5月29日(木)

三条市地域公共交通協議会

1　デマンド交通ひめさゆり利用実績

利用者数と行政負担額の推移

●運賃見直しに伴い、利用者数と行政負担額は減少している。
●運賃見直し後の平成26年3月の利用者数は349人/日、行政負担額401万円/月となり、前年同月の平成25年3月に比べて利用者数が23%、行政負担額が40%減少した。

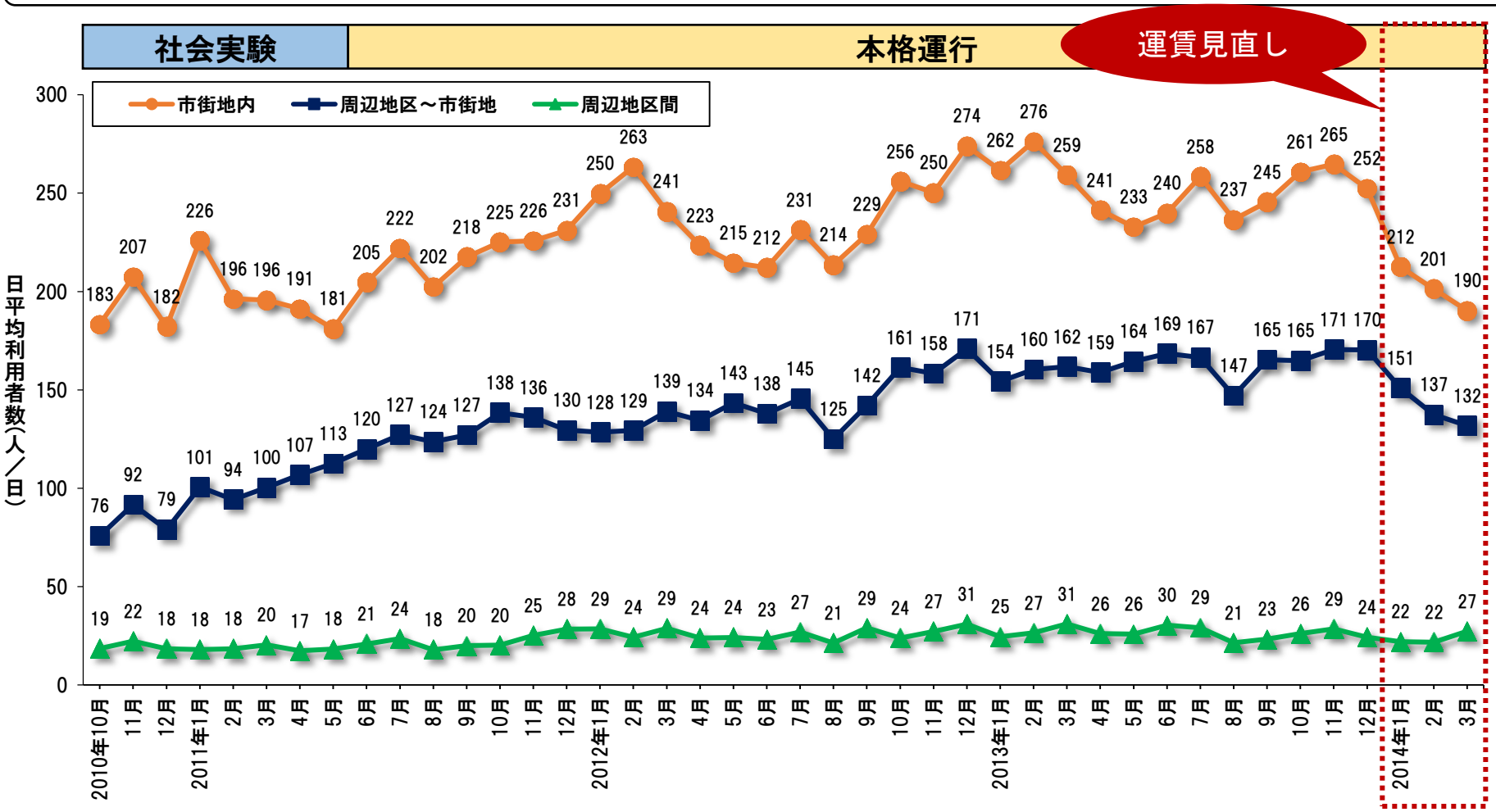


※ひめさゆり日報に基づき集計

1　デマンド交通ひめさゆり利用実績

起点終点別の利用者数

●運賃見直し以降、**市街地内と周辺地区～市街地の利用が減少**している。
●周辺地区間の利用は、見直し後も横ばいで推移している。

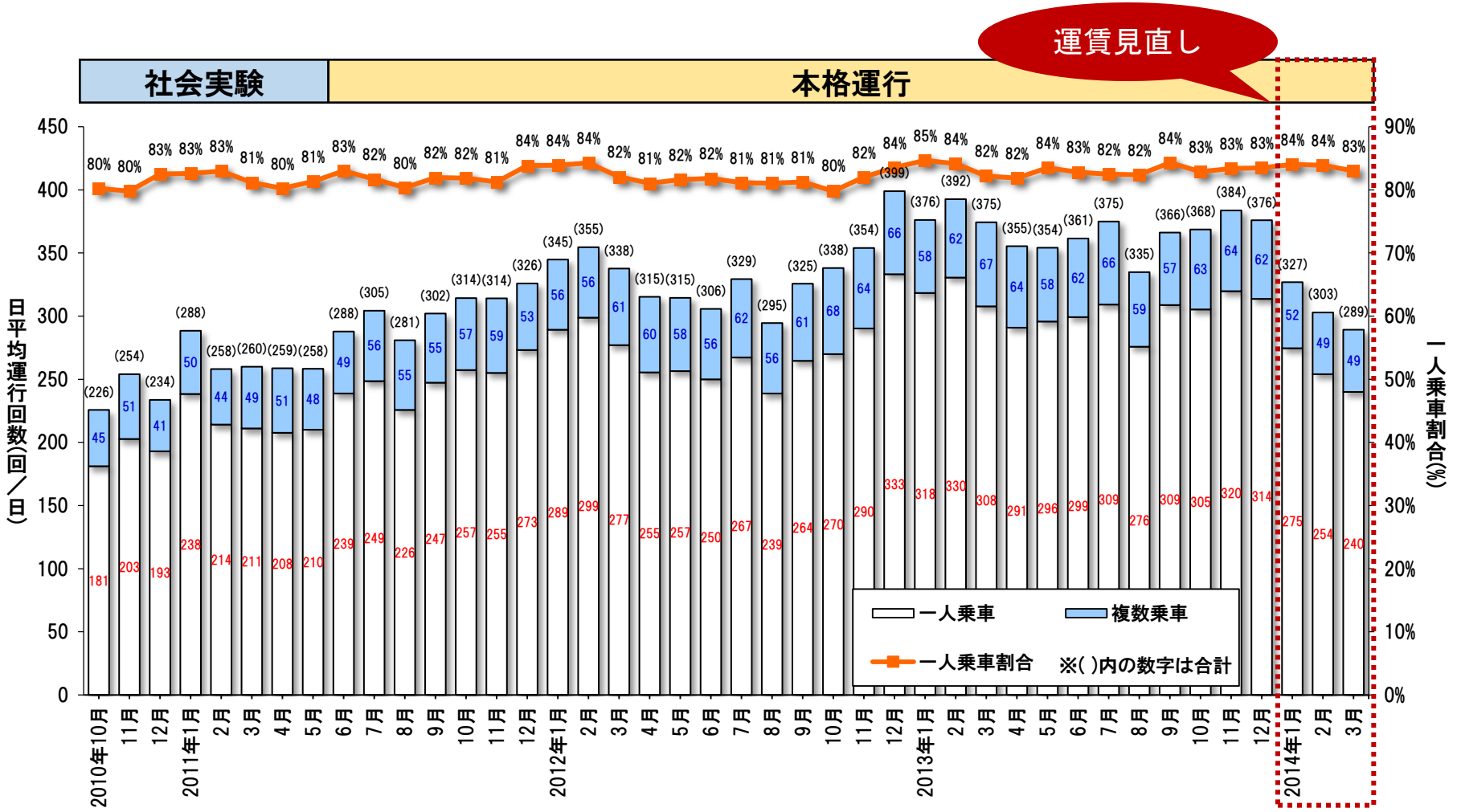


※ひめさゆり日報に基づき集計

1　デマンド交通ひめさゆり利用実績

一人乗車の推移

●運賃見直し後も一人乗車割合に変化は無く、80%程度で推移している。

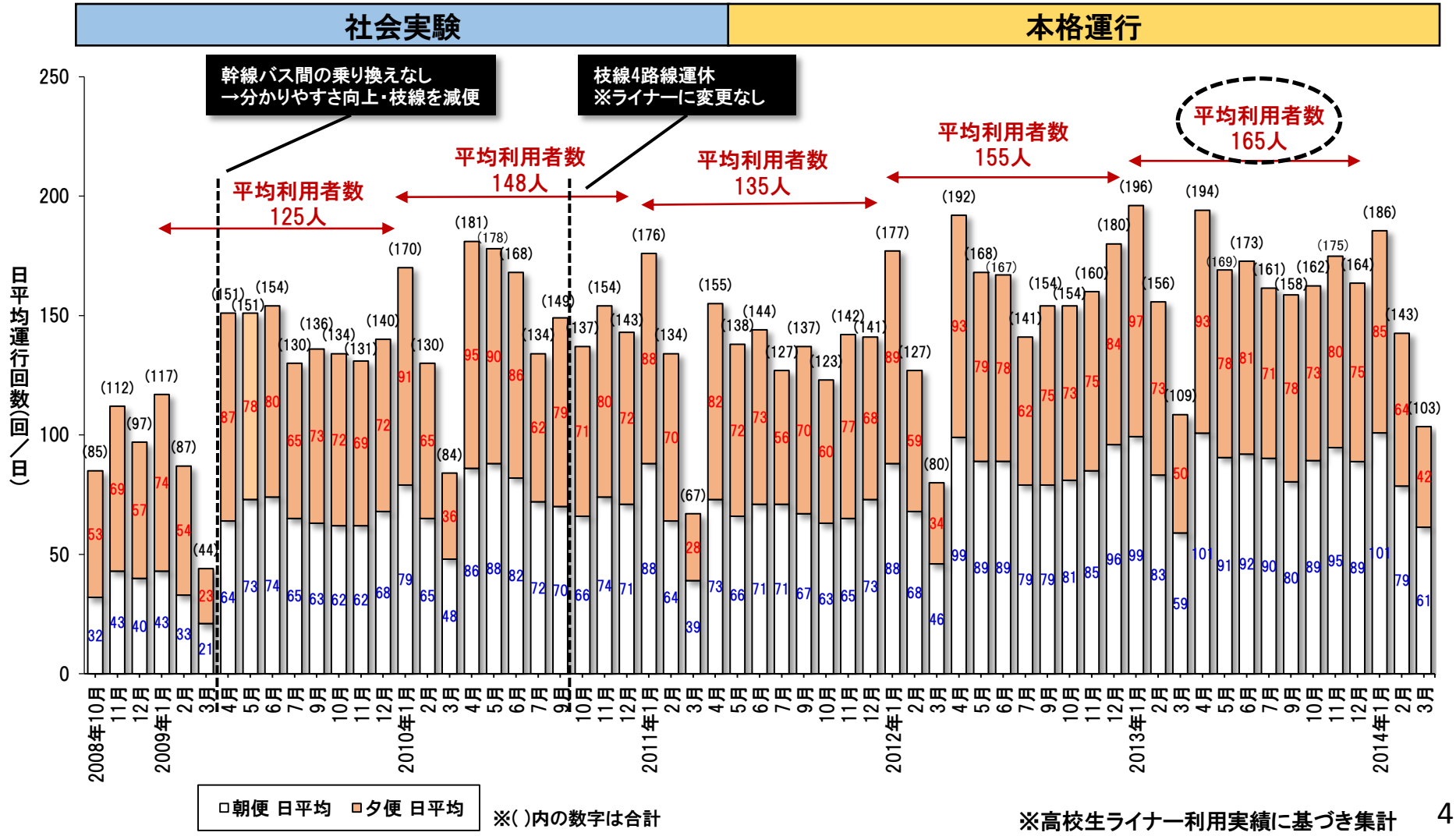


※ひめさゆり日報に基づき集計

2　高校生通学ライナーバス利用実績

利用者数の推移（八木ヶ鼻温泉～県央工業高校）

●昨年1月から12月までの1日あたり平均利用者数は165人となっており、増加傾向にある。



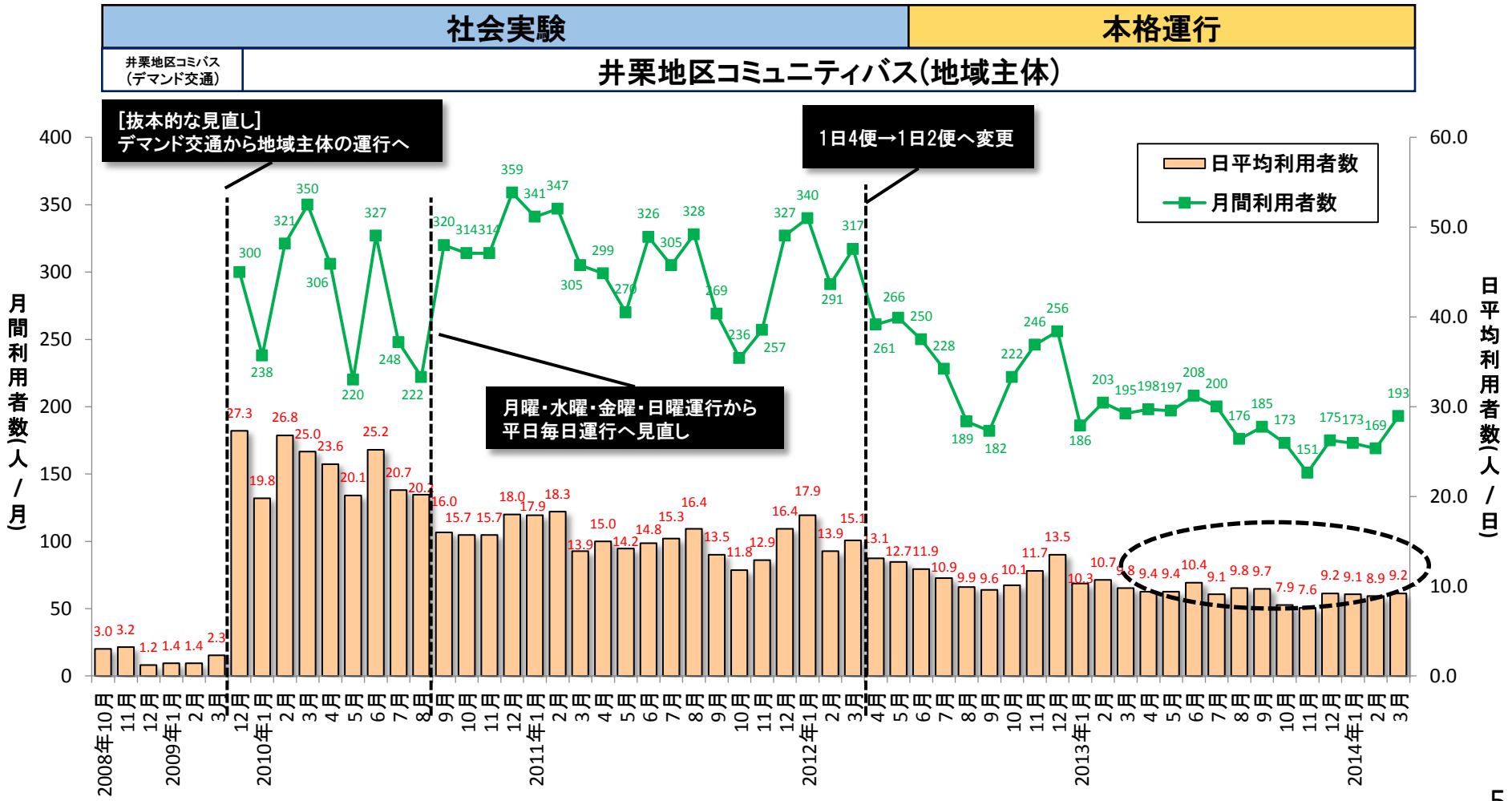
※( )内の数字は合計

※高校生ライナー利用実績に基づき集計

3　井栗地区コミュニティバス利用実績

利用者数の推移

●月変動はあるものの、1ヶ月あたりの利用者数はやや減少傾向にある。
●平成25年度は10人/日程度の利用者数となった。



4　まとめ

ひめさゆり

●日利用者数は・・・
運賃見直し前400～450人に対し、見直し後は350～400人と減少している。
●月間行政負担額は・・・
運賃見直し前600～700万円に対し、見直し後400万円程度に減少している。
●市街地内および市街地内～周辺地区の利用者数が減少しており、平成26年4月の消費税増税による影響も含めて今後の動向を注視しつつ、利用者推移を分析していく必要がある。

高校生通学ライナー

●昨年の年間平均利用者数は約165人/日※であり、やや増加傾向にあるなど、高校生通学ライナーバスが利用者に定着してきていることが伺える。

※夏休みの8月を除いた平均利用者数

井栗地区コミュニティバス

●月変動は大きいものの、昨年度は10人/日程度で推移している。
●利用者数は減少傾向にあり、その原因分析をするとともに利用者増加に向けた対策を講ずる必要がある。